

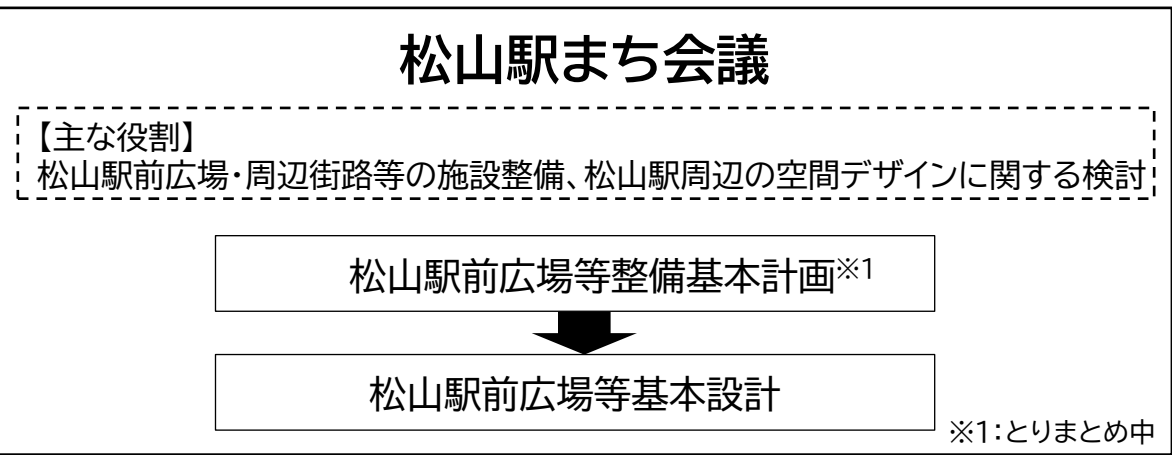
事業計画策定に向けた検討

1. 検討体制
2. 松山駅交通拠点機能強化の検討経緯
3. 松山駅交通拠点機能強化整備方針
4. 交通拠点の機能強化に関する計画ガイドライン(改訂版)
5. 松山駅交通拠点機能強化に向けた検討項目

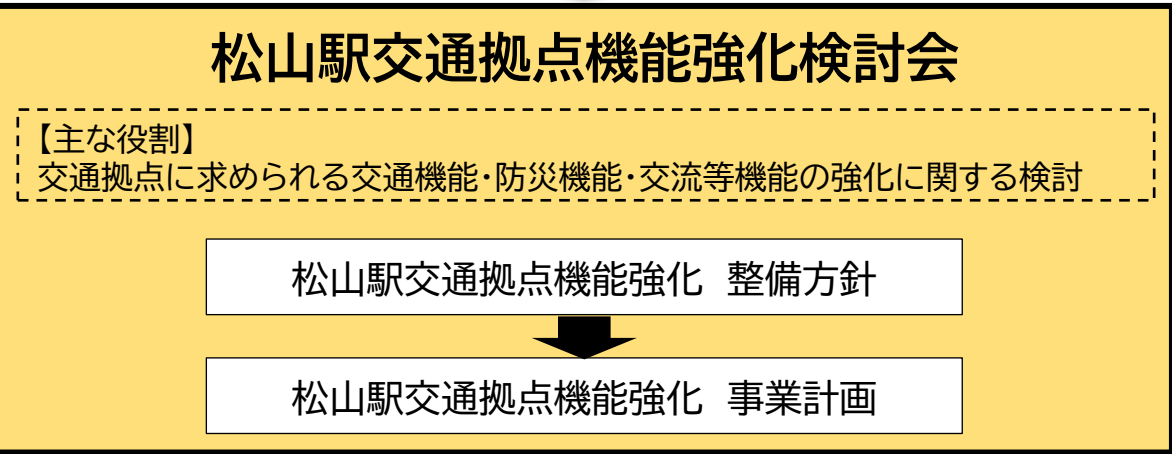
1.検討体制

検討会では、駅周辺の主要施設計画の検討を進めている『松山駅まち会議』と連携を図りながら、整備方針及び事業計画策定に向けて、松山駅の交通拠点機能強化に関する検討を行う。

■検討会の位置づけ



- 【構成員】
- 学識経験者
 - 交通事業者
 - 行政機関(国 ※2、県、市)
 - 関係団体、地元代表、利用者代表 等
- ※2:オブザーバー参加



- 【構成員】
- 学識経験者
 - 交通事業者
 - 行政機関(国、県、市)
 - 関係団体 等

2. 松山駅交通拠点機能強化の検討経緯

年	松山駅まち会議	松山駅周辺まちづくりプラン	松山駅交通拠点機能強化検討会
2019 ～ 2021	第1回(2019.2)～第2回(2019.10) ・松山駅前広場等整備基本計画(案) 第3回(2021.5) ・松山駅周辺デザインコンセプト(案)		
2022	第4回(2022.6) ・松山駅西口のデザイン案など		松山の新たな駅まちづくりシンポジウム(2022.3) 第1回(2022.5) ・松山市の交通の現状とまちづくり 第2回(2022.9) ・検討範囲、交通結節点整備の方向性、 大手町通りニーズ調査
2023			第3回(2023.3) ・交通結節機能強化の方向性、空間活用の方 考え方、各機能の考え方、管理・運営手法 第4回(2023.7) ・松山駅交通拠点機能強化整備方針(案) 第5回(2023.10) ※書面開催 ・松山駅交通拠点機能強化整備方針(案) 整備方針策定・公表(2023.11)
2024	第5回(2024.3) ・松山駅前広場周辺の景観、松山駅西口公共 空間のデザイン	JR松山駅周辺まちづくりの将来像(2024.9) 松山市車両基地跡地 広域交流拠点施設整備検討会 第1(2024.11)～第5回(2025.6) 松山市車両基地跡地 広域交流拠点施設基本計画 (2025.7) JR松山駅周辺整備に関する サウンディング型市場調査 (2025.9～2025.10) 松山駅周辺まちづくりプラン (2026.3公表、2026.7修正) 事業協力者の選定・公表(2026.8.28)	
2025	第6回(2025.6) ・駅周辺まちづくりの状況報告、駅周辺の交 通機能、西口駅前広場のロータリーの計画 など		第6回(2025.7) ・事業計画策定に向けた論点整理
2026 ～	第7回(2026.10.6) ・駅周辺まちづくりの状況報告、駅周辺の交 通機能、大手町通り社会実験		第7回(2026.10.14) 本 日 ・交通ターミナル機能、交流機能 事業計画の策定・公表

3. 松山駅交通拠点機能強化整備方針

松山駅交通拠点機能強化整備方針

ポテンシャル

- 広域交通拠点がコンパクトにまとまった都市構造
- 松山駅と松山市駅の2大交通拠点が存在
- 松山外環状道路の整備による交通ネットワーク機能の拡充
- 中心市街地に観光・文化・教育・医療・商業などの都市機能が集積
- 道後温泉や松山城など年間100万人を超える観光資源が存在
- 松山空港のターミナル地域整備による受入環境の充実・強化

課題

- 市内中心部におけるバス停留所付近の混雑や自転車動線の交錯
- 駅前広場における公共交通の待合空間の不足や乗降場の分散
- 駅前広場における乗換え、乗継ぎの歩行者動線の分断
- 通過交通による駅前交差点の混雑
- 大手町通りや国道などの周辺道路における交通阻害による速度低下
- 来訪者や地域住民が交流できる広場空間や防災機能の不足

賑わいや交流を生む駅まち空間の形成と一体的にバスターミナルを整備し、交通結節機能を強化

交通モード間の接続 (モーダルコネクト) の強化

- ・バス、タクシー、一般車の乗降場・待機場などを集約
- ・柔軟性のある交通結節点整備

移動利便性・回遊性の向上

- ・次世代モビリティ導入などで、車がなくても移動しやすい都市環境の創出
- ・観光客などへの移動案内の充実や待合空間の確保など、地域の魅力発信
- ・駅前広場や大手町通りなどにおける賑わい・憩いの空間の創出、回遊性向上などによる歩いて暮らせるまちづくりの推進
- ・地域の素材を活用した、県都松山の陸の玄関口にふさわしい景観形成

官民連携

- ・民間が持つ豊富な知見や資産などを活用した効率的・効果的な施設運営
- ・エリアマネジメントや地域デザインの推進
- ・公民学の連携による先進的な技術などの活用



駅周辺地区の交通円滑化

- ・鉄道高架や土地区画整理で創出される道路基盤の活用
- ・公共交通の定時性・速達性の確保や高速バスの増便、次世代モビリティの導入
- ・「松山市駅」とのアクセス強化
- ・適切な駐車場配置と公共交通の利便性向上による中心市街地への過度な家用車流入の抑制
- ・バスターミナルの整備や大手町通りなどの機能強化による周辺道路の交通円滑化

防災機能の導入

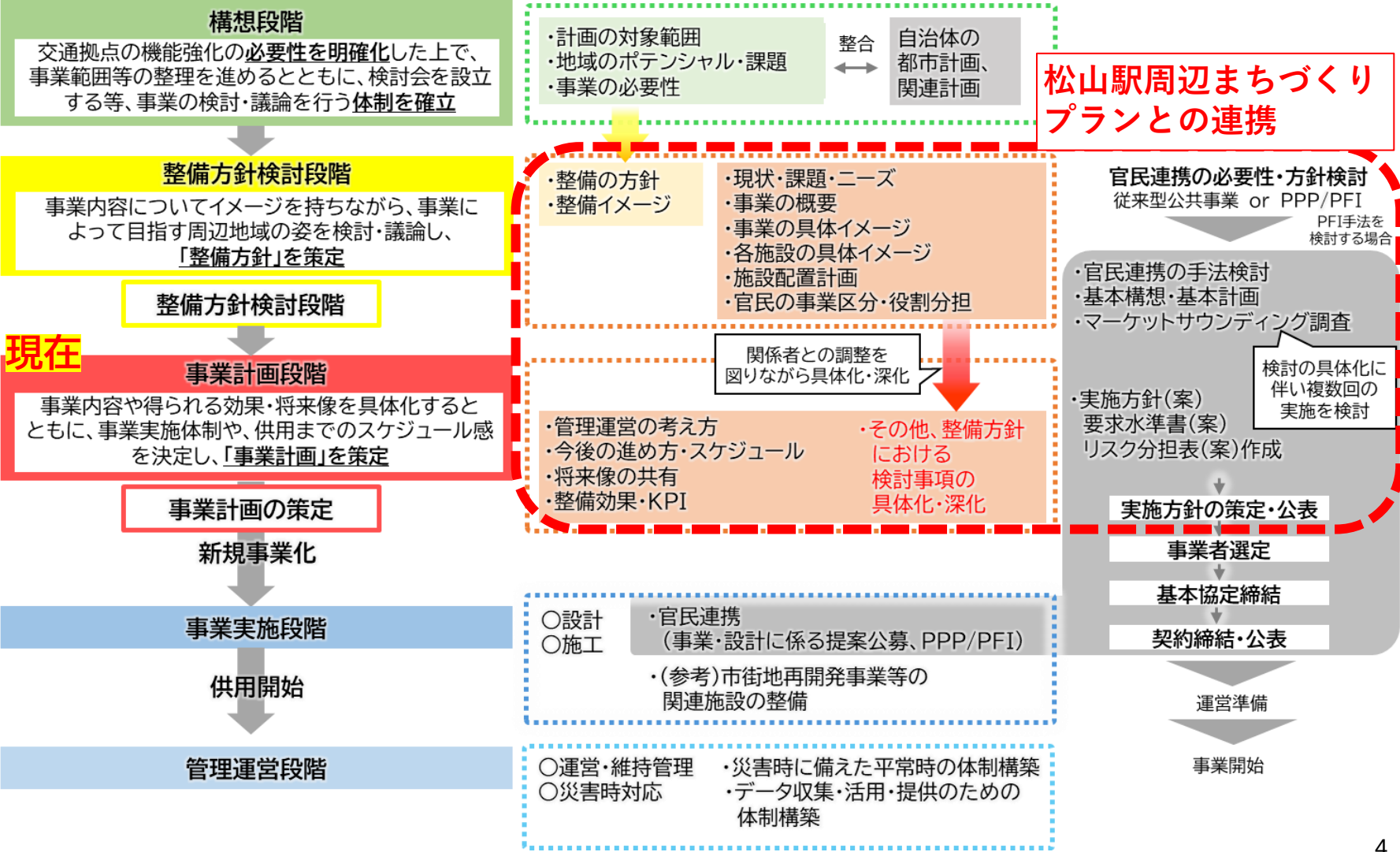
- ・災害時などの帰宅困難者の受入れや、支援物資提供のための物資備蓄空間(機能)の確保
- ・鉄道被災時の代替として、支援の人や物資を運ぶバスの発着拠点
- ・防災教育や啓発による防災意識や防災行動の促進

4.交通拠点の機能強化に関する計画ガイドライン(改訂版)

第1部:計画編

- 第1章 道路ネットワークにおける交通拠点の意義
- 第2章 バスタプロジェクトの概要
- 第3章 交通拠点に求められる機能

第4章 交通拠点の機能強化の進め方



第2部:実務編

5. 松山駅交通拠点機能強化に向けた検討項目

- 「第6回松山駅交通拠点機能強化検討会」において、松山交通拠点に求められる機能等を実現していく上での検討課題、論点、項目を整理。

導入機能など			検討課題	検討項目	特定車両 停留施設	にぎわい 施設	
A	交通ターミナル機能 (交通結節機能)	1	JR松山駅における 各交通モードの接続	・交通ターミナルの導入機能、規模、配置	●	●	資料3
				・特定車両停留施設の乗入対象	●		
				・交通ターミナル利用者の動線	●	●	
		2	移動案内の充実と 快適な待合空間	・待合空間の導入機能、規模、配置	●	●	
B	交流機能 (周辺のまちづ くりとの連携、 賑わい 創出・交通円滑 化)	1	松山駅周辺の まちづくりとの連携	・松山駅周辺空間の機能分担	●	●	資料4
				・駅前広場や周辺施設との連携	●	●	
				・周辺地域との連携	●	●	
		2	JR松山駅と松山市駅の連携	・公共交通利用の推進	●		
				・拠点間のアクセス強化	●		
				・賑わい・憩い空間形成	●	●	
		3	歩いて暮らせる まちづくりの推進	・新たなモビリティの導入可能性	●		
				・社会実験の実施	●		
C	防災機能	1	JR松山駅の交通 ターミナルの役割	・災害時に交通拠点が担うべき機能	●	●	
				・平常時と災害時の空間活用イメージ	●	●	
				・大規模災害発生時における広域輸送の考え方	●	●	
				・代替輸送のイメージ	●	●	
D	整備・管理・運営手 法	1	官民連携	・官民連携の方針	●	●	
				・官民連携手法	●	●	
				・整備スキーム	●	●	
				・スケジュール	●	●	